

市議会だより

No. 78

平成30年
3月
定例会



特集 平成30年度当初予算について徹底審査

【写真】 嵐山つばきの森入口付近のツバキの花です。
ツバキは市政50周年記念の際、瀬戸市の花となりました。
この日は天気にも恵まれ、桜のピンクや空の青ともあいまって、とても綺麗な写真になりました。

予算大綱説明

市長が平成30年度当初予算を編成するに当たっての考え方を紹介します。



瀬戸市長 伊藤 保徳

平成30年度 予算大綱説明について(趣旨)

平成30年度は第6次総合計画の将来像である「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」を実現するための基盤を作らなければならない年であり、その実現に向けての試金石となり、かつ盤石なものとするための重要な予算である。そのために、着実に施策を展開していくことに主眼を置いたものとした。そして「産業支援」「シティプロモーション」「子ども・子育て支援」及び「市民協働」を柱とした予算編成としたものであり、職員一丸となり予算案に掲げた事業を実行していく。

代表質問

3月定例会では、5人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。



自民新政
クラブ
長江 公夫

平成30年度予算大綱説明における市政運営の基本方針について

Q 来年度予算は、将来像の実現に向けての試金石であり、その歩みを盤石なものとするための重要な予算であると位置づけられているが、この予算に懸ける市長の思いはどのようなものであるのか。

Q 安定的な財政運営に努めるものとされるが、各公共施設の維持や更新、さらには扶助費などの財政需要の高まる中で、新財政規律ガイドラインをどのように堅持しつつ、財政の健全化を図っていくのか。また事務事業の見直しの取り組みや、さらには市債の適切な借り入れ水準とはどのようなものであり、様々な事業実施のための歳入確保にどのように努めていくのか。

A 平成30年度は、第6次総合計画の歩みをより一層確かなものとしていくために非常に重要な予算であり、予算案に掲げた事業を着実に実行していくことで、少子高齢化の進行とそれに伴う人口減少などの難局に打ち勝ち、将来像の実現につながるものと考えている。

A 財政の健全化については、新財政規律ガイドラインでは三つの目標値の遵守を大前提に、堅実な財政運営を行っていく。財政需要の高まる中では歳入確保と歳出抑制の両面からの対策が必要であり、自主財源の増加や行政コストの削減などを進める。また今後は施設更新需要に伴う市債借入の増加と公債費に留意した財政運営が求められ、実質公債費比率のチェックや財政計画を毎年度見直す中で公債費の支出見込み額に注意しながら、後年度の財政を圧迫しすぎない範囲での市債の借り入れに努める。



せと 未来
森 英一

第6次総合計画における市政運営について

Q 瀬戸市の最上位計画である第6次総合計画の推進体制の庁内組織改編案が昨年度議会において市長自ら取り下げられたが、今年度も内容が一部修正された。この1年間の庁内議論の経過を伺う。

A 組織改編案については、昨年度に撤回した案に対する意見を十分踏まえ、事務改善委員会において各部署や職員の意見を聞きながら、第6次総合計画の将来像や都市像を実現するための分野横断的な連携の仕組みや限られた経営資源の中で業務の質を高く確保することなどを検討し提案した。

せとまちブランディング戦略と藤井聡太六段の応援について

Q 瀬戸市は、本市のブランディング力向上のため各種プロモーション活動を展開し、瀬戸市の知名度アップを目指している。こうした中、瀬戸市在住の藤井聡太六段が現れ、その天才的才能が日本中から注目されている。当然彼は郷土の誇りであり市民誰もが応援している。ここは市民と協働で応援が必要と考えるが見解を伺う。

A 藤井聡太六段は史上最年少でプロ棋士に昇格して以来、連勝記録更新や棋戦優勝など市民の方々に明るい話題を提供し続けている。その活躍は市民の誇りであり、本市としては彼の功績に感謝するとともに、将棋文化の振興に向けた団体設立を検討している。



ネットワーク
せと
中川 昌也

平成30年度市政運営に関して

Q 第6次総合計画で目指している将来像を実現するためには、毎年行われる事業に対して市民がわかりやすい評価の基準が必要である。現状では、以前の評価方法と変わっていないとの声もあり、評価方法の見直しについて考えを伺う。

A 進行管理については、それぞれに達成すべき目標として客観的な数値を用い、これを指標として都市像の達成度についての進捗度合を管理していくこととしている。こうした取り組み結果を市民の皆さんにわかりやすくお伝えすることは、本市の責務である。

Q 平成30年度予算案を見ても、市民協働に関する新たな展開が見えてこない。新しい市民協働とは、何を指し、何を市民に求めているのか。また、それを実現するには、これまでと何を変える必要があるのか伺う。

A 市民協働については、地域や市民、行政など様々な主体が連携・協力し、全市的・地域的課題を解決するため、知識・情報を共有するとともに、それぞれの役割を明確にしつつ、住みたいまち・誇れるまちにしていくための活動をしていくこととしている。



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸

原資の確保について

Q 市税収入については、約182億円を見込んでいる。目を引くところは、主に施設やインフラ整備のために、市債借入が前年度の約2倍の約33億円となっている。また、公共施設等の整備のために備えた公共施設等整備基金を約13億円取り崩し、事業に充てられるが、今後、原資の確保が不可欠になると思われるが、どのように対応していくのか伺う。

A 中期事業計画において確実な財政計画を見込むとともに、財政調整基金や公共施設等整備基金を着実に積み立て、適切な水準の市債借入を行っていく。また、事務事業の見直しによるコスト削減等に取り組むなど、持続可能な行政サービス提供と安定した財政運営を行っていく。

市民との協働について

Q 平成30年度の方針をみると、市民との協働がキーワードで、行政も課題解決のため各地域へ入っていき、まちづくりを行っていくイメージをもっているが、市民の理解、また行政側の体制は大丈夫なのか伺う。

A 第6次総合計画の将来像の実現をめざし、市民や地域と行政とがパートナーとして、全市的・地域的課題の解決に取り組む「協働」によるまちづくりを進めていく。まちづくり協働課が、行政の窓口機能とともに、行政各分野の担当課と地域や様々な主体をつなぐコーディネート機能を担いながら、お互いに「顔」の見える関係づくりに努めていく。また、「協働」を進めるため、庁内に会議体を設置し、体制づくりにも取り組んでいく。



日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美

子どもや子育て世代に寄り添い、入学準備金の入学前支給を求める

Q 全国的に入学用品などに対する援助金の入学前支給が急速に広がっている。これまでは入学後の5月～7月に支給されていたが、「必要なときに必要な額を」との切実な要望が強いためである。愛知県でも2018年度の新入学児童生徒に対し30市町村・55%、2019年度以降を含めると83%の市町村が入学前支給を実施する。どの自治体も受給後の引越等課題を解決し乗り越え実施している。早急に実施すべきではないか。

A 自治体間の制度運用の違いによる不支給や二重支給などの課題を整理する必要があるため現時点で実施の予定はない。

平和首長会議への参加を契機に瀬戸市における平和行政の充実を

Q 世界で162カ国、国内では1700を超える市区町村が加盟している平和首長会議に瀬戸市長の参加が実現した。多くのヒバクシャの思いが結実し、昨年国連で採択された核兵器禁止条約の早期発効を求めて、平和首長会議総会は「特別決議」を発表した。日本政府に対し核兵器禁止条約の早期締結を求め、ヒバクシャ国際署名に取り組むべきではないか。

A 「特別決議」は重く受け止めるべきと考えるが、本市として独自に国に働きかけを行う考えはない。ヒバクシャ国際署名は市民的コンセンサスを得る中で検討すべきと考える。

特集

平成30年度予算について徹底審査

Q:市議の質問 A:市の回答

総務生活分科会

次世代クリエイターの育成

Q 人材育成という面で、今後の発展性、展開等はどうか。

A デジタルコンテンツやIT業界に興味を持つとともに、IT業界への就業に繋がる機会となるように、継続的な学習と最新の技術を体験できる仕組みづくりを計画している。



「せとまちナビ」アプリのアイコン

デジタルシティ推進について

Q 事業費が前年度の2倍になっているが、どのような内容か伺う。

A せとまちナビに行政情報を通知する機能などを追加し、機能強化を図る。

メガソーラー施設による環境への影響

Q 下半田川地区は自然環境を保全すべき地域と考えるが、上流のメガソーラーの影響をどう考えているか。

A 環境保全の観点から、上流のメガソーラー設置区域は、オオサンショウウオの生息地では無いが上流域にあたるため影響を見る為に、蛇ヶ洞川の水質環境基準BOD(生物化学的酸素要求量)SS(浮遊物質)等5項目について事業者に対して定期的な水質検査を要請している。

消防庁舎の新庁舎

Q 新庁舎の整備について、今後の状況は。

A 今後の消防庁舎の計画は、平成30年度に土地開発公社で土地を先行取得し、平成32年度に設計業務委託を予定している。

厚生文教分科会

図書館駐車場の改修と効果について

Q 今回駐車場の改修をどのような目的でされるのか伺う。

A 現在の図書館の駐車場はそのほとんどが斜面に駐車する位置から、市民への不便をおかけしている。そこで今回は現在の駐輪場を下に移しその場所をより平面になるよう6台分の設置をする予定。そこは「おもいやり駐車場」として小さなお子さん連れの方や高齢者の方の駐車場にしたいと考えている。さらには入口の近くに現在1台はあるが、もう1台身体障がいの方の駐車スペース1台分と将来コミュニティバスでの乗降も考え、その停車のためのスペースも確保する。



図書館駐車場

保育待機児童解消

Q 今回、幡山南保育園で2才児保育を開始し、定員を12名増やして待機児童の解消をすすめるが、平成30年度は他に公立保育所、民間保育所での定員増による解消はないか。

A 幡山南保育園以外の公立保育園での増築工事等改修による解消策は、現時点で予定はないが、平成30年度は八幡保育園で3才児以上クラスの定員を増やす予定としている。また平成31年4月をめざして、社会福祉法人が小規模保育事業開始の準備をすすめている。

新年度予算

| | |
|------------|-------------------------|
| 一般会計予算 | 384億4,000万円(前年度比9.5%) |
| 特別会計予算 | 275億4,200万円(前年度比△6.6%) |
| 企業(水道)会計予算 | 39億6,276万1千円(前年度比10.9%) |

子どもの健康づくり

Q 子どもの生活習慣病対策として平成29年度は対象校14校の小学5年生で血液の検査を行ったが2割の子どもの生活習慣病の疑いが出ている。検査後のフォローはどうしているか。

A これまでの検査では、脂質異常が多いと言える。結果を保護者に知らせ、また併せて子どもにはキッズ健康教室へと働きかけている。今年度から、事前のアンケートで希望された保護者には、個別に連絡を行い状況を確認したが、今年度もこれを発展的に継続していく。

高齢者等肺炎球菌の予防接種について

Q 国は高齢者等の肺炎を予防するための予防接種として、65才以後5年きざみで肺炎球菌の予防接種を実施していたが、平成31年度から70才以上が補助の対象外となるが、瀬戸市はどのように対応されるのか。

A 瀬戸市は制度発足後70才以上全員に対し一定の補助を行っている。平成30年度も平成29年度同様に未接種者全員に勧奨をしていく予定である。これにより必要な方へのカバーができるようになる。

都市活力分科会

旧山繁商店について

Q 平成31年度以降、設計に取り組んでいくとのことだが、国の有形文化財に登録され、瀬戸で楽しんでいただける施設にしていきたいとのことだったが、事業が休止となった背景について伺う。

A 本年度保存活用計画を策定しており、3月末に出来上がる予定である。それに基づいて平成31年度以降、工事設計に取り組んでいきたいと考えている。来年度については、組織の全体的な計画及び財政的な理由などを加味して、一時的に休止になったと理解している。来年度の当初予算では必要最低限の修理をしていき、活用する面では見学会等を行っていく。



旧山繁商店

ツクリテの実態調査

Q 新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館、ツクリテの皆さんなど瀬戸市で学び支援を受けた方々が流出してしまうという現実がある。これまでこういった方々の実態調査などを行っているのか伺う。

A 追跡調査等は行っていない。しかしながらツクリテセンターでは工房や住居等の支援を含め瀬戸市に定住していただけるように引き続き支援をしていきたいと考えている。

輸送対策について

Q 菱野団地の住民バスのような地域の方が自ら考え運行していくような地域交通について今後瀬戸市の他の地域にも広げていく考えはあるか。

A コミュニティバスの新たな形として広げていくことが有効な施策と考えている。

今後の空き家対策

Q 空き家対策については現在、中心市街地を中心に行っている。今後これを広げていくと考えるが、どのようなスケジュールで行うのか。また補助率についても今後検討するのか伺う。

A 現在中心市街地にて行っている空き家対策事業については、3年を目途に考えており、平成30年度が3年目となる。市域全体の要望も多いことから、今後の展開を補助率も含めこの1年で考えていくことにしている。

3月定例会の主な議案概要

第1号議案 瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について、及び
第2号議案 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について、現行の月額報酬をそれぞれ1,000円増額するもの。

<改正後>

議長 549,000円 市長 989,000円

副議長 481,000円 副市長 812,000円

議員 451,000円 教育長 722,000円

また、期末手当についても、平成29年度分から0.05月分引き上げし、年間3.3月分とするもの。

第7号議案 瀬戸市消防団条例の一部改正について、地域防災の中核を担う消防団員の処遇を改善するに当たり、報酬額を年額3,000円引き上げるもの。

第15号議案 瀬戸市教育創造基金条例の制定について、学校教育の充実及び振興を図るため基金を設置するに当たり、条例を制定するもの。

第16号議案 瀬戸市図書館協議会条例の制定について、図書館の運営に係る協議を行うため瀬戸市図書館協議会を設置するに当たり、条例を制定するもの。

第18号議案 瀬戸市スポーツ施設条例の一部改正について、瀬戸市のスポーツ施設のうち一部の施設を廃止し、代替となる施設を設置するに当たり、条例中所需の事項を改正するもの。



南ヶ丘野球場

東公園スポーツ施設に関し、施設の名称等関係する規定を削除し、南ヶ丘スポーツ施設に関し、施設の名称等関係する事項を規定するもの。

ア 東公園グラウンド ア 南ヶ丘野球場
 イ 東公園テニスコート イ 南ヶ丘テニスコート
 ウ 東公園運動広場 ウ 南ヶ丘運動広場

3月定例会議案一覧

◆市長提出議案

| 議案番号 | 件名 | 採決結果 |
|--------|---|-----------|
| 第1号議案 | 瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第2号議案 | 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第3号議案 | 瀬戸市職員の給与に関する条例等の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第4号議案 | 瀬戸市職員の退職手当に関する条例の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第5号議案 | 瀬戸市市税条例等の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第6号議案 | 瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第7号議案 | 瀬戸市消防団条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第8号議案 | 瀬戸市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第9号議案 | 瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第10号議案 | 瀬戸市子ども・子育て会議条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第11号議案 | 瀬戸市母子・父子家庭等医療費助成条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第12号議案 | 高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 可決 (全会一致) |
| 第13号議案 | 瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第14号議案 | 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第15号議案 | 瀬戸市教育創造基金条例の制定について | 可決 (全会一致) |
| 第16号議案 | 瀬戸市図書館協議会条例の制定について | 可決 (全会一致) |
| 第17号議案 | 瀬戸市立視聴覚ライブラリー設置条例の廃止について | 可決 (全会一致) |
| 第18号議案 | 瀬戸市スポーツ施設条例の一部改正について | 可決 (賛成多数) |
| 第19号議案 | 瀬戸市文化施設運営委員会条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第20号議案 | 建築基準法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | 可決 (全会一致) |
| 第21号議案 | 名古屋都市計画赤津南地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について | 可決 (全会一致) |
| 第22号議案 | 瀬戸市都市公園条例の一部改正について | 可決 (全会一致) |
| 第23号議案 | 市道路線の認定について | 可決 (全会一致) |
| 第24号議案 | 市道路線の変更について | 可決 (全会一致) |
| 第25号議案 | 平成29年度瀬戸市一般会計補正予算 (第5号) | 可決 (賛成多数) |
| 第26号議案 | 平成29年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号) | 可決 (全会一致) |
| 第27号議案 | 平成29年度瀬戸市下水道事業特別会計補正予算 (第2号) | 可決 (全会一致) |
| 第28号議案 | 平成29年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算 (第2号) | 可決 (全会一致) |
| 第29号議案 | 平成29年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算 (第3号) | 可決 (全会一致) |
| 第30号議案 | 平成29年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号) | 可決 (全会一致) |
| 第31号議案 | 平成29年度瀬戸市水道事業会計補正予算 (第2号) | 可決 (全会一致) |
| 第32号議案 | 平成30年度瀬戸市一般会計予算 | 可決 (賛成多数) |
| 第33号議案 | 平成30年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算 | 可決 (賛成多数) |
| 第34号議案 | 平成30年度瀬戸市下水道事業特別会計予算 | 可決 (賛成多数) |

市長への提言 ～平成30年度予算執行に向けて～

1 一般会計に関すること

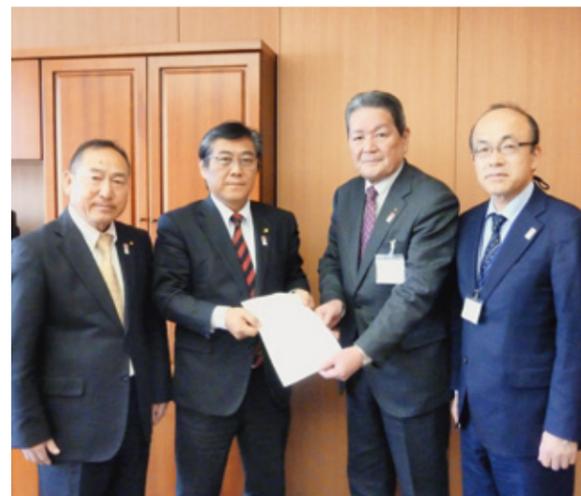
障害者手当支給について

昭和45年以来施行されてきた制度である本制度について、今後の予算執行に当たり、施行当時から現在までの社会保障制度の変遷を考慮し、施策についての必要性、有効性を十分に検証、検討することにより、真に効果のある施策であるよう提言する。

2 介護保険事業特別会計に関すること

介護予防・日常生活支援総合事業推進について

地域包括支援センター運営の推進に係る予算執行については、的確なニーズ把握、市民への周知及び必要な人員確保に留意されるよう提言する。



◆市長提出議案

| 議案番号 | 件名 | 採決結果 |
|--------|--|----------|
| 第35号議案 | 平成30年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算 | 可決(全会一致) |
| 第36号議案 | 平成30年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算 | 可決(賛成多数) |
| 第37号議案 | 平成30年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算 | 可決(賛成多数) |
| 第38号議案 | 平成30年度瀬戸市水道事業会計予算 | 可決(賛成多数) |
| 第39号議案 | 瀬戸市介護保険条例の一部改正について | 可決(賛成多数) |
| 第40号議案 | 瀬戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決(賛成多数) |
| 第41号議案 | 瀬戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決(賛成多数) |
| 第42号議案 | 瀬戸市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決(全会一致) |
| 第43号議案 | 平成30年度瀬戸市一般会計補正予算(第1号) | 可決(全会一致) |
| 第44号議案 | 平成29年度瀬戸市一般会計補正予算(第6号) | 可決(全会一致) |
| 同意第1号 | 瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について | 同意(全会一致) |

◆議員提出議案

| 議案番号 | 件名 | 採決結果 |
|-------|---------------------|----------|
| 第1号議案 | 瀬戸市議会委員会条例の一部改正について | 可決(全会一致) |

各議員の議案に対する賛否の状況

【各議員の議案に対する賛否の状況】<<上記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載>>

| 議案番号 | 自民新政クラブ | | | | | | | せと 未来 | | | ネットワーク せと | | | 公明党 瀬戸市議団 | | 日本共産党 瀬戸市議団 | | 無党派 | | | | | |
|--------|---------|-----|-----|------|------|------|------|-------|-------|------|--------------|-----|------|--------------|------|----------------|------|-----|------|------|------|------|-----|
| | 朝井賢次 | 高島淳 | 西本潤 | 水野良一 | 宮田宗一 | 戸田由久 | 山田治義 | 長江公夫 | 馬嶋みゆき | 高桑茂樹 | 臼井淳 | 森英一 | 伊藤賢二 | 山田伸夫 | 柴田恵子 | 中川昌也 | 藤井篤保 | | 池田信子 | 島原治美 | 長江秀幸 | 浅井寿美 | 原田学 |
| 第1号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第2号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第3号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第4号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第8号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第13号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第18号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第25号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第32号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第33号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第34号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第36号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第37号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第38号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第39号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第40号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第41号議案 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。(3月23日現在)
 なお、三木雪実議員は議長職のため採決には加わりません。

一般質問

市の行政課題などについて考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。なお、答弁は平成29年度担当課によるものです。

Q : 市議の質問 A : 市の回答

太陽光パネルの設置に際し地域の産業や自然環境が守られること



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学

Q 下流のオオサンショウウオの棲息を保護し、豊かな伏流水を守るために、開発に当たり、市として、県や会社に対し自然環境の保護、保全区域を設定すべきではないか。

A 国指定特別天然記念物のオオサンショウウオについては種指定であるため、個体の保護が重要である。それに加えて、オオサンショウウオの生息域で個体を保護するだけではなく、他の希少種の保護とともにその生息環境全体を保全していくことが重要であるため、環境保全関連の機関と連携し、保全区域の検討をはかりながら、保護に努めていく。(文化課)

水道事業の安定的な経営について



自民新政クラブ
西本 潤

Q 先般、市内西部地区で発生した濁り水についてどのように対応されたか。今後、健全な施設を維持するための施設の更新計画を伺う。人口減少による水道料金の収入減と施設更新による支出の増加による財源の確保が課題であるがどのように対応していくのか。

A 放水などにより濁り水の排出を行った。水道ビジョン方針に沿って水道施設更新計画を取りまとめ効率的かつ合理的な施設の更新を進めていく。今後の投資と財源の見通しを試算し、中長期的な経営の基本計画となる水道事業経営戦略の策定に取り組んでいる。(水道課)

債権管理について



ネットワークせと
藤井 篤保

Q 債権の適切な管理は、市財政の健全化と市民負担の公平性を確保する重要度の高い問題であり、事務処理基準の統一を進め、債権管理条例を制定し、債権管理の一元化にも取り組むべきではないか。

A 一元管理については非強制債権を徴収する部署における債権管理の適正化のために有効であると認識している。条例化の範囲を含め、適切な事務処理に有効なものとするため検討を進める。一方、賦課部門において徴収に関する意識が希薄化する恐れがあるなど、課題もある。総合的な観点から検討を進めていく。(財政課)

不登校・いじめ防止対策について



公明党
瀬戸市議団
島原 治美

Q 「いじめ防止対策推進法」が施行され4年が経過した。しかしながらSNSによるトラブル等、全国的に痛ましい、いじめの事件の報道は続いている。また、文部科学省の調査では、不登校児童生徒数は依然として高水準で推移している。以上のことからスクールカウンセラーの拡充や「LINE」等のSNSを活用した相談体制の充実、及び匿名でいじめを通報できる「アプリ」を導入してはどうか伺う。

A スクールカウンセラーの拡充は、適切に進め、相談先の充実やアプリの導入については研究検討していく。(学校教育課)



自民新政クラブ
宮園 伸仁

第6次総合計画における自主財源の増加施策について

Q 今後小中一貫校の施設整備費が必要となる。本市は「公共施設等整備基金」を取りくずし、市債を発行することで予算計上をした。またその他の公共施設についても継続的な整備が必要となる。次世代への負担を軽減させる為にも自主財源をはじめとする歳入の増加は緊急課題である。今後の自主財源の確保についてどの様に進めていくのか見解を伺う。

A 今後については、全庁をあげて第6次総合計画の将来像の実現を目指した地域経済の活性化や、人口の維持に向けた各種取り組みを進めることが、自主財源の確保につながっていくものと考えている。(経営戦略室)



自民新政クラブ
高島 淳

本市の救急車の適正な利用について

Q 年々高齢者が増え、救急車の出勤も近年増加している。一方で頻回利用や、軽症利用などでの出勤もあり、急病、重症患者への迅速な対応を妨げる恐れがある。救急車の適正利用について本市の取り組みについて伺う。

A 救急車の適正利用に関しては、様々な機会を捉えて市民に啓発していくことで促進されるものと考えている。今後は、これまでの取り組みに加え、救急車を呼ぶべきかどうかを判断する上で重要となる緊急度の判定を、市民の皆様が容易に行えるようにするための方策について取り組んでいく。(消防課)



公明党
瀬戸市議団
池田 信子

SDGs (持続可能な開発目標) 推進について

Q 本市の掲げる市民協働は、SDGs (持続可能な開発目標・誰一人置き去りにしない)の実現に向けた一つの手法と考えるがどうか。さらに第6次総合計画の施策等を自治体SDGsモデル事業として位置付けることで国の方向性とも合致するのではないかと。

A 地域・NPO・企業・行政等が協働して課題解決に取り組んでいくことは、第6次総合計画の将来像の実現を目指す手法の一つである。総合計画は最上位計画であるため、その目指すところは、国のSDGsアクションプランに掲げる実施指針とも差異なく同じ方向性を持つと考える。(経営戦略室)



せと 未来
馬嶋 みゆき

小学一年生に対する給食指導について

Q 給食については栄養を十分に考えられた献立で、一人分を完食することが望ましいと思うが、身体の発育状況などから食が細く、食べきれない児童もいる。給食を完食出来ない児童に対し、どう対応するのが望ましいとお考えか。また、その考えは本市の各学校の給食指導において統一した対応となっているか伺う。

A 子供の状態に応じて食べられない分を残すように指導し、または食べられる環境を工夫するなど、柔軟な対応が望ましいと考える。各学校においても、そのように統一した指導をしている。(学校教育課)



自民新政クラブ
朝井 賢次

平成30年度からの本市のスポーツ振興について

Q 今回の組織改編でスポーツ施策を担う“係”が“課”に昇格するという事は、本市がさらにスポーツ振興に取り組んでいくという姿勢の表れと考える。この姿勢を市民に発信し「協働」して振興を推進していくため「瀬戸市スポーツ振興計画」を立案し、戦略的に取り組んでいくべきと考えるが見解を伺う。

A 地方スポーツ推進計画は各地方公共団体がスポーツ施策を計画的に展開していくための拠り所となる計画である。従って当該計画は、スポーツ振興に関する施策に戦略的に取り組んでいく有効な手法の一つと考え、今後検討をしていく。(交流学び課)



せと 未来
白井 淳

小規模化が進む菱野団地3小学校と光陵中学校は現状のままでいいのか。

Q 平成30年度新入学生数について、原山小学校・八幡小学校・萩山小学校及び光陵中学校の状況について伺う。また、菱野団地3小学校、光陵中学校は、このまま状況が好転することは考えられず、適切に対応する時期が迫ってきていると思うがどうか伺う。

A 現時点で、原山小学校28人(外国人7人)八幡小学校20人(外国人3人)、萩山小学校9人すべて外国人、光陵中学校85人(外国人18人)の見込み。また、今後モデル地区での実績を踏まえて、それぞれの地域固有の実績を勘案した計画を早期に立案して、示していく考えである。(学校教育課)

地方議会研修会

1月24日、犬山市において「地方創生時代の政策と議会のあり方を学ぶ」をテーマに開催された地方議会研修会に三木雪実議長がパネリストとして招かれ、同時に瀬戸市議会からも多くの議員が参加しました。

先進事例報告の後、パネルディスカッションにおいて、三木議長からは瀬戸市における議会改革の経緯と実践を紹介し、議員間討議がまだまだ不足している現状にもふれ、本市の課題についての発言がありました。

この研修会では「議員間討議」や「市民との意見交換会」を活発化し、政策提言などに繋げていくことの重要性を学びました。



研修会の様子

議員研修会

1月25日、龍谷大学政策学部土山教授を招き、「議会基本条例の検証について」をテーマに、課題となっている「議員間討議、市民との意見交換会」を充実させるために研修をしました。定例会などの後に議事運営をめぐって評価、問題提起、議論する場面をつくり共通認識の醸成を図るなど、いくつかの提言をいただきました。

2月20日、関西学院大学大学院経済学研究科小西教授を招き、第1部「瀬戸市の財政分析と予算審議のポイント」について、第2部「予算審議に向けての勉強会」について、市職員も交え研修をしました。



小西教授による研修

議会改革推進特別委員会視察

1月30日、31日に議会改革の先進議会である福島県会津若松市議会を視察しました。テーマは、「市民意見を起点とした政策サイクル確立への取り組み」です。

政策サイクルの原点は「①市民との意見交換において、15地区を5班に編成された議員が担当し、その場での意見を議会の問題意識として共有すること」であり、続いて「②各常任委員会を単位とした政策討論会において課題解決に向けた取り組みを行う」次に「③政策提言や条例制定などの政策立案に結びつける」そして「④その経過と成果を市民に説明報告する」その後「⑤反省・申し送り」となっていました。

①⇒②⇒③⇒④⇒⑤と政策形成サイクルを具体的に活用することが、議会の本来の機能を果たすうえで、重要であることを直接学ぶことができました。



瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。



グリーンシティケーブルテレビ

『こんにちは!瀬戸市議会です』

(地上デジタル121ch)

6月定例会放送予定

7月16日(月)から7月22日(日)まで

放送時間

(7:25～、9:25～、12:25～、18:25～、20:25～、22:25～ 土・日のみ7:25→14:25となります。)

「6月定例会 一般質問録画放送」

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



RADIO SANQ

『せとまちラジオ』(FM 84.5MHz)

6月定例会放送予定 6月12日(火)

放送時間

(9:20～、12:00～、18:00～)



5月臨時会等の予定

5月14日(月) 本会議

5月15日(火) 本会議

5月17日(木) 総務生活委員会・厚生文教委員会

5月18日(金) 都市活力委員会

6月定例会の予定

6月11日(月) 本会議(開会・議案上程・説明)

6月14日(木) 本会議(一般質問)

6月15日(金) 本会議(一般質問)

6月18日(月) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
終了後 予算決算委員会

6月19日(火) 総務生活委員会
終了後 予算決算委員会総務生活分科会

6月20日(水) 厚生文教委員会
終了後 予算決算委員会厚生文教分科会

6月21日(木) 都市活力委員会
終了後 予算決算委員会都市活力分科会

6月25日(月) 予算決算委員会
終了後 議会運営委員会

6月27日(水) 議会運営委員会

6月28日(木) 本会議(委員長報告・討論・採決・閉会)

※いずれも、午前10時(5月17日厚生文教委員会は午後1時)からの開催予定ですが、会議日程は変更される場合がありますのでご確認ください。

編集

後記

紙面の内容や構成について、議会でのよう議論がなされ、このような結果になっているのかを、市民のみなさんにいかに伝えるかを、編集担当委員全員が時間をかけて検討しました。

また、昨年4月に制定された議会基本条例のもと、今、議会がどのような取組みをしているかも、特集を組んで掲載しました。今後も議会だよりをよろしく願います。 広報部会長 高桑茂樹



議会だよりに関するご意見などについては、下記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 議会事務局 議事課 ☎88・2740 E-mail giji@city.seto.lg.jp